

**大**地に根ざし野に生きる人々、その生命の豊饒を裸にむきだしたプリミティブな表現として示した猪風来の初期作品。縄文土器復元と縄文野焼き技法復活をなした後、新しい芸術表現を模索していた1980年～86年頃のこと。文明から離れ“縄文スピリット”を追求する芸術的試みの中で「大地とは何か？ 人間とは何か？」「自然と文明のはざまではどのように生きるべきなのか？」を問い、虚飾を捨てた雄々しく力強いメッセージの作品を生み出しました。

『大地を耕す人』(h93cm)『肥まく人』(h90cm)『スイカ抱く女』(h113cm)は、土まみれになって働く人間の姿であり、『老女の声』(h55cm)は、土に生き土に選っていった女が響かせる大地の音が聴こえてくるかのようです。大地、肉体、精神から原初の響を醸す縄文野焼き作品20点を展示。どうぞ高覧ください。

# 原初の響ひびき

## 猪風来いふうらいの土偶展

2014年 12月3日水～3月1日日

- 開館時間 午前9:30～午後5:00
- 休館日 月・火曜日(祝日は開館)/年末年始
- 観覧料 一般400円 高校生200円 (中学生以下無料)
- アクセス 岡山から車で約90分  
岡山空港から車で約70分  
賀陽ICから車で約45分  
新見ICから車で約30分  
井倉駅からタクシーで約15分  
方谷駅からタクシーで約10分



〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

現代縄文アートの創始者である縄文造形家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スタイル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

